NEWS RELEASE

近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

報道関係者各位
令和８年（2026年）3月9日
学校法人近畿大学

近大附属和歌山高中が大阪フィルハーモニー交響楽団 鑑賞会を開催

クラシック音楽界で注目の若手指揮者 松本宗利音（しゅうりひと）氏を迎えて

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校（和歌山県和歌山市）は、令和8年（2026年）3月16日（月）、和歌山県民文化会館大ホール（和歌山県和歌山市）にて、本校生徒向けの芸術鑑賞会「大阪フィルハーモニー交響楽団 鑑賞会」を開催します。

令和7年（2025年）1月に開催した芸術鑑賞会の様子

【本件のポイント】

- 大阪フィルハーモニー交響楽団と指揮者の松本宗利音氏を迎え、芸術鑑賞会を開催
- 質の高い音色を体感し、優れた音楽作品に触れることで、生徒の豊かな感性を育む
- 芸術鑑賞会を通して、生徒が本格的な演奏会に適した鑑賞態度を身につける

【本件の内容】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校では、古典芸能やクラシックなどの良質な芸術に触れて豊かな感性を養うとともに、本格的な演奏会に適した鑑賞マナーを身につけることを目的に、芸術鑑賞会を年2回開催しています。

40回目の開催となる今回は、大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏を鑑賞します。令和７年（2025年）4月から同楽団の指揮者に就任され、クラシック音楽界で注目を集めている松本宗利音氏の指揮のもと、シベリウスやドヴォルザーク、モーツァルト、ベートーヴェンの名曲を壮麗な演奏で味わいます。

【開催概要】

日時：令和８年（2026年）3月16日（月）14：00～15：30

場所：和歌山県民文化会館　大ホール

（和歌山県和歌山市小松原通1-1、南海電鉄「和歌山市駅」より徒歩約20分）

対象：近畿大学附属和歌山高等学校・中学校　高校1・2年生、中学1・2・3年生（合計1,276人）

演奏：大阪フィルハーモニー交響楽団（指揮：松本宗利音）

曲目：シベリウス／交響詩「フィンランディア」

ドヴォルザーク／スラヴ舞曲　第8番　ト短調　作品46-8

モーツァルト／交響曲　第41番　ハ長調　K.551「ジュピター」より　第4楽章

ベートーヴェン／交響曲　第6番　ヘ長調　作品68「田園」

【指揮者プロフィール】

松本宗利音（まつもと しゅうりひと）氏

平成5年（1993年）生まれ、大阪府豊中市出身。京都堀川音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞受賞。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曽我部千恵子の各氏に師事。藝大在学中にはダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。

「目指す指揮は、失敗を恐れず作品と向き合った解釈をオーケストラに伝えること」と語り、その確かな構成力と瑞々しい感性で頭角を現している期待の新星。令和７年（2025年）4月から大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。

令和元年（2019年）から令和4年（2022年）まで札幌交響楽団指揮者として各地で共演を重ねた他、令和2年（2020年）に指揮研究員を務めていた東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の定期演奏会に、令和3年（2021年）に読売日本交響楽団名曲シリーズ、大阪フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にデビューし、堂々たる演奏を披露。山形交響楽団、仙台フィル、群馬交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、関西フィル、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、九州交響楽団などからも次々に招かれ、共演を重ねている。2024/2025シーズンはNHK交響楽団にデビュー。

「宗利音（しゅうりひと）」の名付け親は、20世紀の世界的指揮者カール・シューリヒトの夫人である。

【大阪フィルハーモニー交響楽団】

大阪フィルハーモニー交響楽団は、昭和22年（1947年）、朝比奈隆氏を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれました。昭和25年（1950年）の社団法人化、昭和35年（1960年）の改組を経て、平成24年（2012年）4月から「公益社団法人大阪フィルハーモニー協会」となりました。創立から平成13年（2001年）までの55年間、朝比奈隆氏が音楽総監督・常任指揮者を務め、個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきました。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、平成26年（2014年）～平成28年（2016年）シーズンは井上道義氏を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」が相次いでリリースされるなど、高い評価を得ました。平成30年（2018年）4月からは尾高忠明氏が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホールを中心に全国各地で演奏活動を展開しています。令和6年（2024年）4月からは、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマー氏がアーティスト・イン・レジデンスに就任し、令和7年（2025年）4月より、松本宗利音（まつもと しゅうりひと）氏が指揮者に就任しました。

【本資料の配付先】

和歌山県政記者クラブ、和歌山地方記者室、和歌山県政放送記者クラブ

【本件に関するお問合せ先】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校事務室　担当：吉田
TEL：073-452-1161 FAX：073-451-0394
E-mail：kindaiwakayama_kouhou@itp.kindai.ac.jp